

高度経済成長ではない、 もうひとつの、 戦後日本の歴史

敗戦後、日本の復興のための基幹産業と位置づけられながら、

一九四〇年代末には合理化政策が推し進められた炭鉱産業。

合理化政策とエネルギー革命によって多くの炭鉱労働者が失業し、

炭鉱地帯は貧困と人身売買の温床となった。

悲惨な生活を強いられた炭鉱労働者とその家族に対して、

世論を動かし「炭鉱離職者臨時措置法」を

ともかくも成立させるまでの一五年間を踏査。

炭鉱を犠牲にして進められた、戦後日本の高度経済成長を検証する。

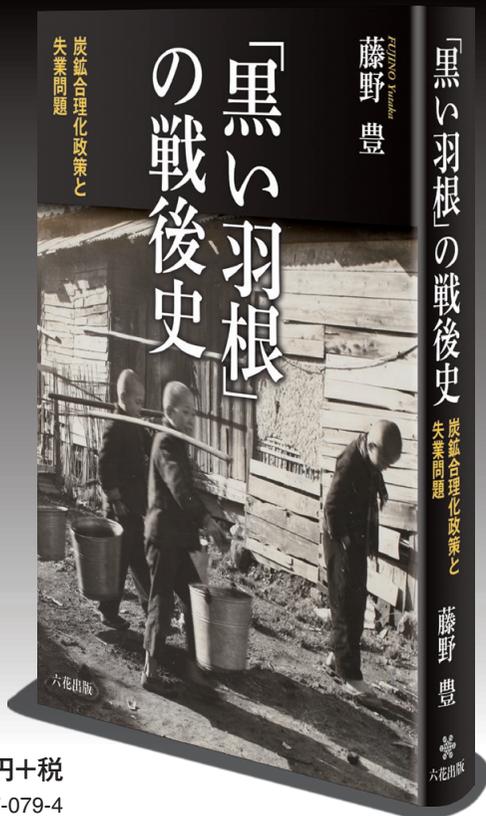
「黒い羽根」の

戦後史

炭鉱合理化政策と失業問題

藤野豊

FUJINO Yutaka



2019年
9月刊行!

六花出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-28
電話03-3293-8787 ファクシミリ03-3293-8788
http://rikka-press.jp e-mail: info@rikka-press.jp

国がようやく炭鉱離職者臨時措置法を成立させ、不十分ながらも炭鉱失業者の救済に着手したのは一九五九年
二月のことである。まさに、当時の日本は三池争議や安保闘争の渦中にあった。しかし、国にこうした政策を実施
させた力は、労働組合や日本社会党の抗議活動だけではなかった。炭鉱失業者を救えという大きな国民世論があっ
た。その世論を生み出した原動力は、映画にもなった安本末子の日記『にあんちゃん』、土門拳の写真集『筑豊のこ
どもたち』などのメディアと黒い羽根運動である。わたくしは、この黒い羽根運動に惹きつけられた。

わたくしは、小学校一年生のとき、学校で黒い羽根を配られた記憶がある。担任の先生が「筑豊のお友だちのため
に協力しましょう」と言って、共同募金の赤い羽根と同じだが、色が黒い羽根をクラス全員に配り、わたくしたちは
各自一〇円ずつを寄付した。この幼少時の記憶が、わたくしを、この運動の実態への関心を駆り立てた。わたくし
は、三池争議に示されたような、社会主義革命を目指す闘いとは異なる、別の形の炭鉱の失業問題との闘いの可能
性を模索していった。そして、その過程で、半ば労働運動史のなかで「神話化」された三池争議への疑問を強く懐く
ようになった。

……本書「まえがき」より

A5判／上製／360ページ／定価2,800円＋税

ISBN978-4-86617-079-4

まえがき

第一章 昭和天皇の巡幸に見る戦後日本の炭鉱問題

はじめに

- 第一節 炭鉱に関心を強める天皇
- 第二節 争議渦中の筑豊に立つ天皇
- 第三節 杵島から潜竜へ炭鉱を巡る天皇
- 第四節 坑内服で入坑する三池の天皇

おわりに

第二章 炭鉱合理化政策の開始と失業問題(一)

はじめに

- 第一節 炭鉱合理化政策の開始
- 第二節 炭鉱合理化の実態
- 第三節 合理化のなかの筑豊

おわりに

第三章 炭鉱合理化政策の開始と失業問題(二)

はじめに

- 第一節 炭鉱合理化をめぐる労資の論理
- 第二節 第三次吉田茂内閣と炭鉱合理化
- 第三節 炭鉱不況下の失業者問題
- 第四節 炭鉱不況下の筑豊

おわりに

第四章 石炭鉱業合理化臨時措置法の成立

はじめに

- 第一節 石炭鉱業合理化臨時措置法案の上げ
- 第二節 石炭鉱業合理化臨時措置法案をめぐる議論
- 第三節 石炭鉱業合理化臨時措置法と筑豊

おわりに

第五章 石炭鉱業合理化臨時措置法下の失業問題

はじめに

- 第一節 神武景気下の炭鉱合理化論
- 第二節 深刻化する炭鉱失業問題と自由民主党政権
- 第三節 深刻化する筑豊の失業問題

おわりに

第六章 炭鉱離職者臨時措置法の成立

はじめに

- 第一節 石炭鉱業合理化臨時措置法の改正
- 第二節 炭鉱離職者臨時措置法の成立
- 第三節 炭鉱離職者臨時措置法成立後の石炭政策

おわりに

第七章 映像と音声に記録された炭鉱の失業

はじめに

- 第一節 「失業・炭鉱合理化とのたたかい」が残した「絶望」
- 第二節 「にあんちゃん」に流された「感動の涙」
- 第三節 「筑豊の子どもたち」が突き上げた「怒り」

おわりに

第八章 黒い羽根運動の展開

はじめに

- 第一節 黒い羽根運動の提起
- 第二節 黒い羽根運動本部の設置
- 第三節 黒い羽根をめぐるジャーナリズム
- 第四節 黒い羽根運動の活動
- 第五節 筑豊以外の黒い羽根運動
- 第六節 黒い羽根運動からの出発

おわりに

あとがき



筑豊のボタ山



東京での雨の中の「黒い羽根」募金風景

既刊図書のご案内

**孤高の
ハンセン病
医師**

小笠原登「日記」を読む
藤野豊著

ハンセン病患者をこころよく療養所に収容しようとした瀨予防法のもとで、自らの医学的知見にしたがい、絶対隔離の必要なしと療養所外での自宅治療・通院治療を敢行した医師・小笠原登の「もうひとつのハンセン病治療」。その思想と実践を、遺された日記・諸資料を駆使して検証、実体に迫る。



定価 1,800円 + 税
2016年3月刊行
ISBN978-4-905421-95-5

注文カード

帖合・貴店名

〈八木書店経由〉

注文数

冊

発行 二六花出版 著 藤野豊

「黒い羽根」の戦後史

炭鉱合理化政策と失業問題

定価 ● 本体 二、八〇〇円 + 税

ISBN978-4-86617-079-4

お名前

お電話番号

注文 年 月 日

● 弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください。
お急ぎの場合は小社に直接ご連絡ください。電話 03(3266)8787 Fax 03(3266)8788 電子メール info@rikka-press.jp